



江差町の 今後10年のまちづくり 【2020～2029】

～第6次江差町総合計画（概要版）～
《第2期江差町まち・ひと・しごと創生総合戦略》



令和2年3月、 第6次江差町総合計画が 完成しました!!



……って、
役場の人か
言ってたんだけど、
総合計画って
なんなのかしら？

そうだね。なかなか普段聞きなれない
言葉だと思うよ。これはね……

総合計画とは……

江差町が住みよいまちであるために、役場ではいろいろなことを行っています。

農業や漁業などの産業を支援したり、困っている人を助けるための手続きを行ったり、学校教育のことを考えたり、道路を整備したり……皆さんの生活になじみ深いこともあれば、直接は見えないこともあります。こうした取り組みの多くは、役場がそれぞれに計画をつくって、将来的に目指すことを定めています。

しかし、それぞれの計画の考え方ではばらばらに取り組んでいると、うまくいかないことも起こってきます。たとえば、せっかく文化会館をきれいにしても、その前の道路がボコボコのまま放っておかれているために行きづらい……なんてことも、日本ではけっこう起こっています。

総合計画は、役場のすべての計画をまとめる計画です。いろいろな取り組みの方針をまとめて、**江差町がどんなまちになっていくのかを描く重要な計画**なんです。

総合計画の「取り組み期間」と「計画のつくり」

総合計画は、まちづくりのいろいろな分野をまとめて、
江差町がどんなまちになるかを描く……

それはあかったけど、たとえば100年先には江差町は
こんなふう to 発展していると言われても、全然イメージ
あかないんだけど……

そうだね。きっと100年先には日本も北海道も
まったく変あっているだろうから、そんなに先のことは
江差町だけで考えきれるものじゃないよね。

市町村がつくる総合計画は、ふつう、**10年くらい
で考える場合が多い**んだよ。

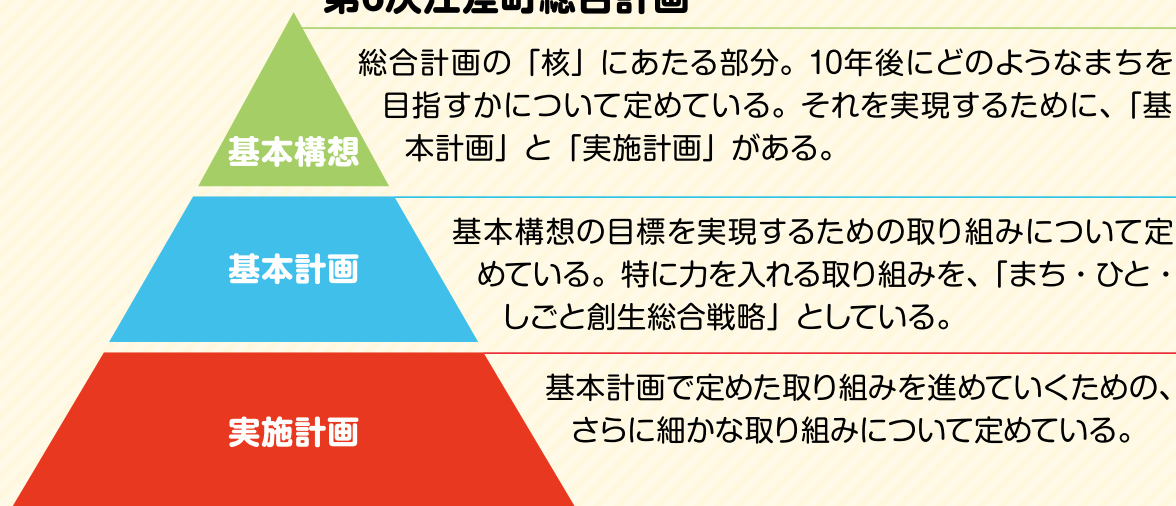
第6次江差町総合計画は、 今後10年間のまちづくりを定めた計画です。

総合計画は、10年後にどのようなまちを目指すのかについて定めた「基本構想」と、
それを実現するための「基本計画」と「実施計画」でつくられています。

また、「基本計画」の中から、人口減少に歯止めをかけるため特に力を入れる取り組み
をまとめた計画を、「まち・ひと・しごと創生総合戦略」といいます。

下の図は、総合計画のイメージを、図で示したものです。

第6次江差町総合計画



江差町の人口

実際、今、江差町ってどんな状況なの？
人口が減っているのは、感じるけど……

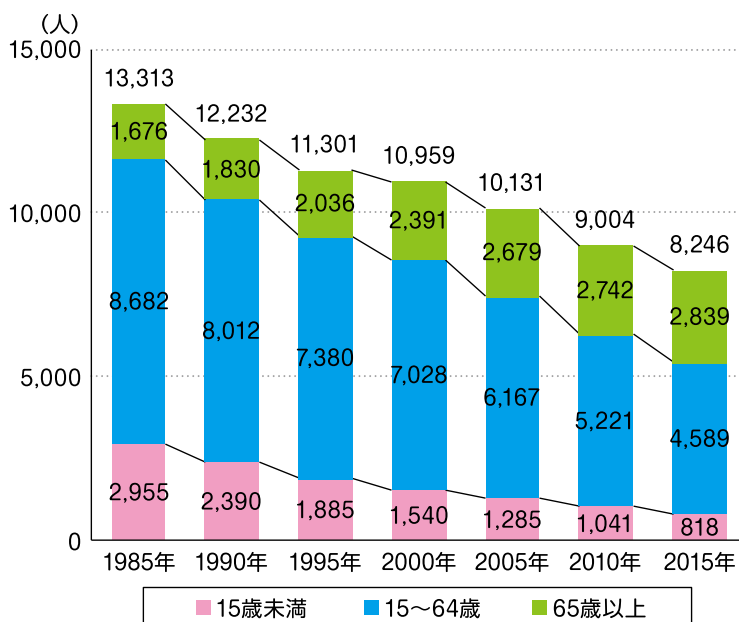
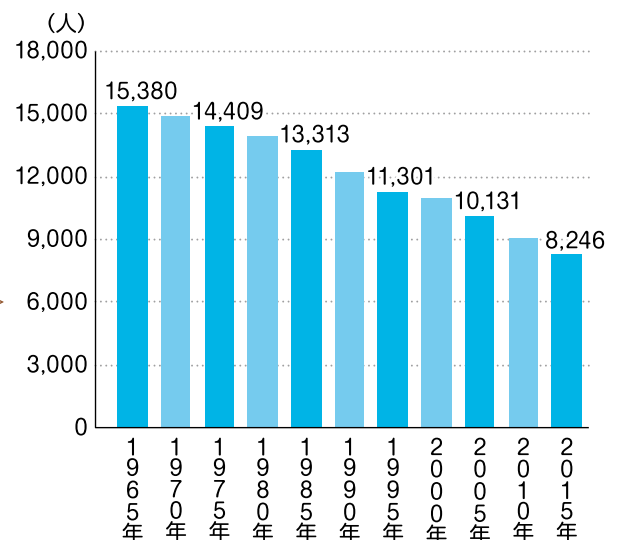
町の将来を考えるのに、現状を知っておくのは大事なことだね。
この概要版には簡単に載せておくけど、
詳しくは総合計画本編を読んでみてね。

(総合計画本編は、江差町ホームページでご覧いただけます。)

江差町の人口は50年以上前から減少しています

実は、江差町は、日本が人口減少を問題視するずっと前からこの問題をかかえています。昭和40年(1965)ごろが、人口のピークと考えられ、それ以降はずっと減少傾向にありました。

逆を言うと、人口が減り続けていたにもかかわらず、この檜山地域の中心として繁栄が続いていたという言い方もできるかもしれません。



3人に1人が高齢者という状況

平成27年(2015)の国勢調査によれば、江差町は総人口の3人に1人にあたる34.4%が高齢者となっています。

同じ年の日本全体の高齢者の割合は26.6%ですので、江差町は日本でも高齢化が進んでいる地域といえます。

江差町の特長

現状を踏まえて、江差町の特長、つまりどんなところがいいところなのか、まとめたよ。

① 檜山の中心地

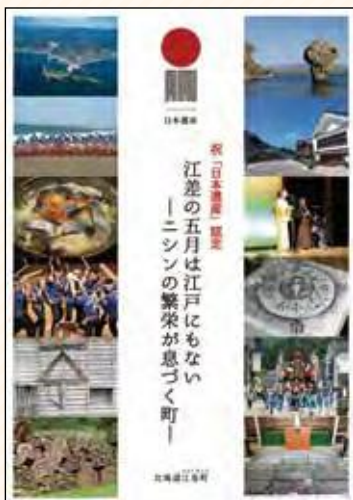
江差町は、この檜山では最も年間の観光客数が多いまちです。

また檜山の各町につながる道路がまじわる場所にあり、まさにこの地域の中心地といえます。

② 歴史文化に基づいた多彩な観光資源

江差町は、江戸時代から明治時代にかけてニシン漁とニシン加工品の交易で栄えたまちで、そこから残されたものが今も町内にたくさんあります。

こうしたものの価値が認められ、北海道で初めての「日本遺産」に認定されています。



③ かもめ島をはじめとした豊かな自然

住民へのアンケートでは、江差町の良さは自然豊かな環境だという方が非常に多くいました。

私たちは、このまちの良さを大事にしながら、住み良さを考えなければなりません。

④ 魅力を秘めた地域の産業

平成29年（2017）、104年ぶりとなるニシンの群来^{くき}が確認されました。また、姥神祭りの時期には、町内に泊まりきれないほどの観光客が訪問するなど、江差町の産業は大きく発展する可能性を秘めています。

⑤ 顔の見えるコミュニティ

コミュニティとは、ご近所のつながりや助け合いのことです。江差町は、人口も面積も、全国的には小さなまちです。それゆえに、隣近所とのつながりが都会よりも深く、顔の見える関係性があるといえます。



江差町の主な課題

いいところだけじゃなくて、江差町の課題、
つまりどんなところが**悩み**なのかも、まとめたよ。

①人口減少・少子高齢化

前のページでも書いたように、江差町は3人に1人が高齢者という状況になっています。

国の予測では、このままいけば、40年後には若者より高齢者が多くなる見込みです。

②若者世代の流出による担い手不足

人口減少や少子高齢化の原因のひとつに、住民がまちから出ていくことがあります。特に若者世代が出ていくことで、産業や地域のいろいろな活動が続けられなくなっていくます。

江差町の調べでは、ほかの町へ移った若者の多くが、まちのことを大好きだと思ってくれていることがわかっています。

若者が地元に残ってくれるような環境を考えなければなりません。

③にぎわいある市街地づくり

近年、伏木戸や柳崎にいろいろな施設ができて、江差の北部は、住みよさが向上しました。

今後は、中心市街地である上町・下町そしてかもめ島周辺をどのように活性化していくかを考える必要があります。

④道路交通網の維持・再構築、空港・駅からの移動利便向上

人口減少により、バスやタクシーの利用者が減少していますが、その一方で、高齢化により、バスやタクシーに頼らざるをえない住民が増加することも予想されます。

また、飛行機や鉄道で道南に来られた観光客に、江差町へ来てもらうための交通についても、もっと便利にならないか考える必要があります。



⑤インフラ(道路・上下水道など)や公共施設の老朽化

住民の生活を守るためには、インフラや公共施設を異常なく安全な状態で維持していかなければなりません。

しかし、それらの費用は、人口が減少したからといって下がるというものではありません。

江差町では、インフラや公共施設の維持費用が、毎年1億円以上かかっています。施設の使われ方をみて、必要性を考えていく必要があります。

総合計画が定めた「目指すまちの姿」

誇りある暮らしを未来へ^{つむ}紡ぎ、
みんなでつくる自分たちごとのまちづくり

江差町、美
江差
えさし

江差町の特長や課題を踏まえて、10年後にどんなまちを目指してまちづくりをするのか、話し合っ^てて決めたんだ。それがこの「目指すまちの姿」なんだよ。

なんだかあかりにくいな。

これだけじゃピンとこないけど……

一つひとつの言葉に意味があります！

実は言葉の一つひとつにまちづくりの考え方が込められています。

『誇り』

江差に対する
住民の思いを
大事にします！

『暮らし』

すべての取り組みは、
住民の生活をよくする
という目的のものです！

『未来へ紡ぎ』

この地を愛する人が、
この地に住み続けられる
ように取り組みます！

『みんなでつくる自分たちごとのまちづくり』

地域の問題にひとりで悩まず、他人ごとではなく自分たちごととしてみんなで取り組みます！

江差町、美
江差
えさし

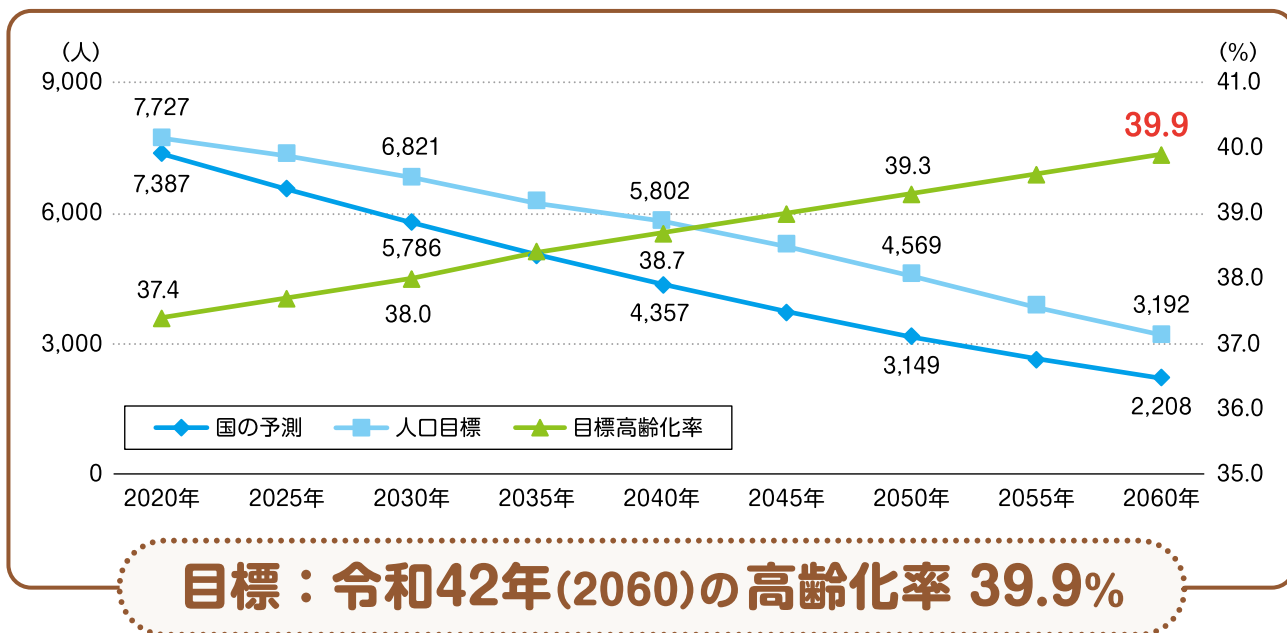
江差町のまちづくりのキャッチコピー。
今後10年間、積極的に使用します！

人口目標

目指すまちの姿の意味はわかったけど、
やっぱりこれだけじゃ、正直、ピンとこないな……

そうかもしれないね。実際に計画にはいろいろな
「目標」が立てられていて、少しでも具体的にする
工夫がされているんだ。たとえば、一番大きなもの
が「人口目標」。下の表を見て。

国の人口推計 と 江差町の人口目標



え……江差町の人口って
こんなに減っちゃうの？

そう、これはもう避けられない。だから、少しでもよくしていく
ために考えていく必要があるね。この表の人口目標は、まちが
長く保ち続けられる目安として、高齢者の割合（高齢化率）
が50%を超えないように、という前提で計算されているよ。

「目指すまちの姿」を実現するための取り組み

目指すまちの姿

誇りある暮らしを未来へ紡ぎ、みんなで
つくる自分たちごとのまちづくり



「目指すまちの姿」
実現のために、
こんな分野に取り
組んでいくんだよ。

目指すまちの姿のために、**4つの目標**を立てています！

基本目標4

住民とともにあり続ける
行政運営

- ◆住民と一緒に、地域の問題を考え、取り組みます。
- ◆みんなの税金の正しく上手な使い道を考えます。

基本目標3

住民が元気に安心して
暮らせる生活環境づくり

- ◆道路や港、河川の安全を守ります。
- ◆車がなくても生活できる仕組みづくりに取り組みます。
- ◆自然を守りながら、清潔な生活ができるよう、取り組みます。
- ◆災害や犯罪などから地域の安全を守ります。

基本目標2

あたたかなつながりの
ある地域・ひとづくり

- ◆困っている人を支援するため、福祉に取り組みます。
- ◆住民の健康づくりに取り組みます。
- ◆子どもから大人まで、望む勉強ができるよう取り組みます。
- ◆地域がつながり、助け合える仕組みづくりをします。
- ◆移住者が住み良いまちになるよう、取り組みます。

基本目標1

経済基盤を持続させる
産業の振興

- ◆農林漁業や商工業を支援しながら、観光に力を入れて
町外から人を呼びこみ、町内の産業を守ります。

主な取り組み (基本計画のことです)

まち・ひと・しごと創生総合戦略

基本計画の中から、
特に力を入れる取り組みをまとめる

まち・ひと・しごと創生総合戦略

人口が減っている江差町にとっては、いかに若者を呼びこむかが重要な問題だよ。でも若者は仕事がないと、なかなか来てはくれない。そこで、仕事をつくることにつながる取り組みに、力を入れることにしたよ。

下に書いているとおり、3つの重点目標で、人口減少をおさえることを目指しているよ。

まち・ひと・しごと創生総合戦略

3つの重点目標（施策）

1. 江差ブランド製品づくりで仕事をつくる
2. 江差文化体験交流で仕事をつくる
3. 江差っ子チャレンジ支援で仕事をつくる

左の
3つの仕事
づくりで…

目標

令和42年(2060)の高齢化率39.9%に抑制を目指し……

若者世代を中心に、
江差町への移住を増やし、人口減少を防ぐ

仕事をつくるために……

具体的にに取り組むこと

1. 江差ブランド製品づくりで仕事をつくる

- ◆江差町の製品が町外でも売れるように、江差らしい江差ならではの製品をつくり、魅力を高めます。
- ◆農業や漁業のICTによる効率化や、後継者の確保に取り組みます。

2. 江差文化体験交流で仕事をつくる

- ◆北海道江差観光みらい機構を中心に、江差町の魅力を発信し、観光客が何度も来てくれるように取り組みます。
- ◆来てくれた人が少しでも長く町内に滞在してくれるような、サービスを考えます。

3. 江差っ子チャレンジ支援で仕事をつくる

- ◆江差町に移住しやすいように、起業の支援や住宅を整備します。
- ◆移住後も住みやすいように、子育て支援や近所の助け合いをより良くします。

基本的な取り組み

力を入れる取り組みだけじゃなく、みんなの生活を守る、
日頃の取り組みにも手は抜けない。
ここでは、まちづくり全体の4つの目標を説明するよ。

1 経済基盤を持続させる産業の振興

- ◆このまちの産業が続けられるようにいろいろな支援をしながら、観光を中心に産業を盛りあげます。
- ◆歴史・文化、自然など、このまちの財産を活用して、まちの外からも経済を呼びこみ、活力とにぎわいのあるまちをつくれます。



2 あたかなつながりのある地域・ひとづくり

- ◆少子高齢化が進行する中で、誰もが住み慣れた地域で、自分らしくいきいきと暮らしていけるように、住民がお互いに支え合うまちをつくれます。
- ◆新たな時代を生き抜く人材を育成するとともに、ふるさとへの愛着を育み、たとえ町外に住むことになってもまちを思い支えるひとづくりを行います。

3 住民が元気に安心して暮らせる生活環境づくり

- ◆住宅や道路などの維持・整備や、防災・防犯対策の強化、自然環境を守ることなど、誰もが安全・安心に快適な暮らしを営むことができるまちをつくれます。
- ◆特に近年の大規模災害の増加に備え、防災体制を高めるため住民・地域・町が協力して取り組みます。

4 住民とともにあり続ける行政運営

- ◆地域を守っていくためには、行政運営が計画的でなければなりません。人口減少・税金減少が予想されるため、何もかもできるわけではなく、必要かつ効果的な取り組みに集中しなければなりません。そのため、住民と一緒に、ずっと住み続けられるまちづくりを行います。

こうした取り組みを通じて、
私たちの「エエ町、江差。」を実現します！



第6次江差町総合計画【概要版】 第2期江差町まち・ひと・しごと創生総合戦略

発行年月：令和2年3月

編集・発行：江差町 まちづくり推進課

〒043-8560 北海道檜山郡江差町字中歌町193番地1 TEL (0139)52-1020 FAX (0139)52-0234

URL <https://www.hokkaido-esashi.jp/>